

競技注意事項

1. 規則について

本大会は 2007 年度日本陸上競技連盟規則・同駅伝競走規準ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 競技方法について

- ① スタートラインでの並び順は前回大会の順位通りとする(ナンバー順)。
- ② 競技者が途中で医師・審判長に競技中止を指示された場合は、直ちに走行を中止しなければならない。なお、医師は各中継所に待機する。
- ③ 競技者が途中で競技を続行することができない状態になったとき、または競技中止を指示されてレースを途中で棄権した場合、その前の区間までは公式記録とする。なお、当該チームは、審判長の指示に従い次区間から最終チーム通過 1 分後に再スタートすることが出来るが、オープン参加となり、次区間以降の記録は、参考記録とする。
- ④ タスキは必ず肩から掛けて走ること。
- ⑤ 競技者が勝手に走路から離れた場合、その後の競技続行は認めない。
- ⑥ 競技中、競技者はいかなる助力も受けてはならない。また、自転車、あるいは関係者による伴走は一切認めない。違反が判明した大学は失格とする。
- ⑦ 競技中の競技者に対する給水は、主催者側で用意したもののみとする。

3. 中継点について

- ① 本大会は第 1 中継点（補助陸上競技場付近）、第 2 中継点（東第 3 多目的広場付近）、第 3 中継点（ラグビー場付近）の 3 ヶ所に中継所を設けるため、各自コース図を参照し、注意すること。
- ② タスキは中継線より進行方向 20m のところに引かれた白線までの間で引き継がなければならない。
- ③ タスキを渡し終えた競技者は、他の競技者の妨害とならないよう、直ちに走路外に出なければならない。

4. 招集について

- ① 招集は、各中継点付近で行うので、各中継点の出発係の指示に従うこと(付き添いは各校 1 名のみとする)。
- ② 招集時には、必ずユニフォームにナンバーカードをつけること。
- ③ 招集時間・招集場所は下記の通りに定める。

	第 1 区 5.1 k m	第 2 区 4.0 k m	第 3 区 6.1 k m	第 4 区 3.0 k m	第 5 区 6.1 k m	第 6 区 8.1 k m
招集時間	15:10	15:30	15:45	16:05	16:15	16:35
招集場所	第 1 中継点	第 2 中継点	第 1 中継点	第 3 中継点	第 1 中継点	第 3 中継点

5. コース使用上の注意

- ① 本大会は熊谷スポーツ文化公園利用者と併用にて行うため、接触等がないよう十分注意すること。また、原則として、ウレタン部分を走行すること。
- ② コースの使用に関しては、競技役員の手配に従うこと。
- ③ 競技者、競技役員以外は一切コースに入らないこと。特にスタート及び中継点付近は混雑が予想されるので、大学関係者も一切コースに入ってはならない。
- ④ 移動の際には安全に留意すること。特に熊谷スポーツ文化公園陸上競技場・熊谷ラグビー場は当日他の団体が使用しているため十分注意すること。

6. 全日本大学女子駅伝への出場権

前回大会シードの城西国際大学、城西大学を除く、上位 6 校が仙台にて開催される第 25 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会に出場することができる。

7. その他

- ① 大会本部は、熊谷スポーツ文化公園東第3多目的広場に設置する。
- ② 大会当日、13:30より大会本部前にて実施する区間エントリーにおいてプログラムを配布し、14:15より大会本部前において監督、代表者会議を行う。
- ③ 変更後のメンバー一覧表は、第1中継点・第2中継点・第3中継点に掲示する。
- ④ 荷物は各大学で管理すること(盗難、遺失に関して大会主催者は一切責任を負わないものとする)。
- ⑤ 更衣については、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場11・12番ゲート間の更衣室を使用することができる。
- ⑥ 競技中、身体の故障により競技を続けることが困難となった場合は、最寄りの競技役員に申し出て指示を受けること。
- ⑦ 本大会競技中の不慮の事故等については、主催者側で応急処置は行うが、その後の処置は各自(各校)で行うものとする。また、事故に起因する事後の結果については本連盟では責任を負わないものとする。
- ⑧ 閉会式を18時30分より彩の国くまがやドーム内体育館(コース図参照)において開催するので、参加選手、関係者は必ず出席すること。
- ⑨ その他、不明な点は大会本部まで問い合わせること。